

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進		事業開始年度	昭和41年度		作成責任者
担当部局庁	研究開発局		担当課室	参事官 (宇宙航空政策担当) 宇宙開発利用課		参事官 (宇宙航空政策担当) 松尾 浩道 宇宙開発利用課長 佐伯 浩治
会計区分	一般会計		上位政策	宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	宇宙基本計画 (平成21年6月2日宇宙開発戦略本部決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	文部科学省が担う宇宙開発利用を総合的・効率的に推進するために必要な事務を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	宇宙開発に関する科学技術動向調査、産業界との連携協力推進のための調査等の事務を行う。また、宇宙ステーション計画を総合的に推進するとともに、アジア太平洋地域宇宙利用会議など宇宙外交を進めるにあたって、職員派遣、会議開催など必要な事業を実施する。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙ステーション計画の総合的な推進のために、国際会議参加や開催、スペースシャトル打上げの現地対応等を実施。</li> <li>・わが国の宇宙開発を円滑に行うため、職員を派遣して、米国・欧州・ロシア等の宇宙先進国との協力を着実に進めるとともに、近年宇宙開発を積極的に推進しているアジア諸国との協力関係を構築。</li> <li>・アジア太平洋地域の国々の関心が高まっている宇宙利用に関し、わが国が積極的な協力を行うため、平成5年より開催しているアジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) について、平成22年1月26～29日にタイ・バンコクにて第16回会合 (APRSAF-16) を開催。</li> <li>・宇宙活動における国際的枠組みについて審議している国際連合宇宙平和利用委員会 (本委員会・科学技術小委員会・法律小委員会) に積極的に参加。</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	52	50	47	51	0
	執行額	44	44	42		
	執行率	84.6%	88.0%	89.4%		
	総事業費(執行ベース)	44	44	42		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	財政法、会計法等に則り文部科学省において適切に執行している。				
	見直しの 余地	宇宙・航空分野の研究・開発・利用の効果的推進のため、引き続き、財政法、会計法等に則り経費の効果的・効率的執行に努めること。				
予算監視 △の所見 効率化チ ー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点: この事業は、文部科学省が担う宇宙開発利用の推進のために必要な事務を行う長期継続事業である。</li> <li>2. 所見: 20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、特に外国関係旅費に係る積算を見直し、予算を縮減すべきである。</li> </ol>					
補記						

[A] 文部科学省  
42 百万円

文部科学省が担う宇宙開発利用を総合的・効率的に推進するために必要な事務を行う。

非常勤職員手当	4. 6 百万円
諸謝金	0. 3 百万円
職員旅費	4. 1 百万円
外国旅費	10. 6 百万円
委員等旅費	0. 2 百万円
庁費	21. 8 百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A. 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員 手当	調査員手当	4.6			
諸謝金	会議出席謝金	0.3			
職員旅費	ロケット打上げ対応等	4.1			
外国旅費	国際会議出席等	10.6			
委員等旅費	会議出席者への旅費等	0.2			
庁費	事務補佐員の賃金及びコピー機 使用料等	21.8			
計		41.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように記  
 載)